



海中転落疑似体験教室 根室市漁協青年部連絡協議会が、作業着やカッパ姿などでの海中転落時のパニックを体験。水の抵抗の大きさに驚くとともに、救命胴衣の必要性を実感した一日となりました。(6月14日：温水プール)



赤勝て！白勝て！運動会 市内小中学校の運動会シーズンを迎え、練習の成果を発揮しようと頑張る子どもたちに、グラウンドは温かい応援と歓声に包まれています。(6月21日：海星小中学校)



明治公園さくらの森づくり 「明治公園をさくらの名所に」との願いを込めた市民協働の植樹作業。3年目となる今年は、観賞池の周囲に150本のエゾヤマザクラの苗木が植樹されました。(6月7日：明治公園)



第34回根室市少年弁論大会 北方領土問題と自由課題の二部門に、市内中学校7校から20人が参加。堂々と力強く訴える姿勢に、会場からは大きな拍手が送られました。(6月12日：柏綾中学校)



静かな憩いのときを

あなたの図書館で
TEL(23)5974番

本展「ニッポン号世界一周70周年を記念して」

金刀比羅神社境内の額堂に「ニッポン大飛行完成御禮、昭和14年11月30日親善大使 大原武夫・機関士 下川」の額があるのをご存知でしたか。

これは、現在の毎日新聞社による世界各地の在留邦人の多い国々を訪れる「親善訪問飛行」の功績を感謝して納められたものです。1939年(昭和14年)8月26日に羽田空港を出発して根室に着陸し、次の目的地であるアラスカのノームへの飛行を予定していましたが、雨で根室飛行場は使用不能となったため、急ぎよ、当時軍機の千歳空港を札幌飛行場と称して使用しました。8月27日午後3時に札幌を飛び立ち、根室では現在の岩瀬牧場付近に多数の学生を集め、上空を飛び去る機体に人文字を描き見送ったそうです。その後、五大陸20カ国を回り、10月20日に帰着しました。機体は海軍現役の九十六式陸上攻撃機を改造して使用しました。協力者は、後の連合艦隊長官 山本五十六でした。この機体と同じ九十六式陸攻は、当時、中国各地を爆撃し戦争画「渡洋爆撃」のモデルになりました。

「ニッポン号」の名前は、公募した百二十万件以上の中から選ばれ、同じく募集された「世界一周大飛行の歌」はレコードになり大ヒットしました。根室で歓迎のために、子どもたちはこの歌を練習し、そして、乗員たちのお土産には多楽石を用意したそうです。

図書館では8月1日から30日まで、本展「ニッポン号世界一周70周年を記念して」と題し、新聞コピー、ニッポン号の模型、東京根室会の浄土氏よりお借りした絵葉書などを展示します。ぜひ、足をお運びください。

囑託司書 浅野 正弘